

福音の園だより

平成十八年度「高年齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
TBSラジオ『メイコのいきいきモーニング』取材紹介施設

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉事務局
☎ 049-230-1111 (FAX 230-1112)
ホームページ・<http://www.geocities.jp/gospelgarden/>

ご家族の声

記念の日、感謝をこめて！

四年前、二〇〇四年の本日午前十一時頃、母・チエが入院していたH総合病院から、自宅に寄らず、直接入所させていただきました。その日から四年間が過ぎました。今、母の口から出る言葉は「感謝」の一言だけだと私は思います。六七年間、母と付き合つてきてこんな母は初めての体験です。人生の最晩年をこんな素晴らしい元々の母に戻つて毎日を生活している幸せ、皆様本当にありがとうございます。

本日の夕刊各紙に、井上 ふみさんの死亡記事が掲載されております。作家・井上 靖さんの奥さんで母と同じ志社高女時代のクラスメートで、もう十数年前にならうかと思いますがクラス会をやるからとご本人から電話あり、新宿へ連れて行つたことを思い出しております。京都時代の母の青春、キリスト教との出会い、そして今、福音の園での生活、最晩年での感謝の言葉、皆様本当にありがとうございます。

「お母さんがここで幸せに暮らしているから、私達も

心配しないでそれぞれの生活ができる。お母さんありがとうございます」と面会の度に母に語り、手を握り合います。皆様、今後もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。
四年間本当にありがとうございました。 鈴木 壮夫

希望への支援の実践——方針説明

聖書に基づいた「介護力」を育むために

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳 朝、デイサービスご利用者宅へ向かう途中、カラーラジオから「テレビ身の上相談」が耳に入る。

ある日、五十代主婦から、義母との同居はしないという条件で再婚したのに、姉妹の急病等から長男である夫が母を引き取ることになりそうだ。同居する位なら離婚する決意だという相談内容。この日の午

後、お茶の時間にこれを話題にしたら、中高年スタッフが一言、「すぐに自分の番になるのにネ！」

老親の幸福とあなたの幸福は表裏一体

先月号で『一人では担当ないから、スタッフ総力で十八名の利用者を自分の親のようにお世話する』この「愛」は「聖書に基づいた愛」だと記した。

「福音の園」が拠り所とする聖書の言葉の一つが、『父と母を敬いなさい。』これは約束を伴う最初の掲です。『やうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きる』ことができる』という約束です。』

(新約聖書 エペソの信徒への手紙 6章2～3節)

一年二六五日「毎日」であるべきなのに何故か、毎年一日限りの「敬老の日」。「父と母を敬いなさい」は、誰もがそらんじるほどに有名な言葉。ところが、『やうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きる』ができる』という言葉とセットになつてい

る聖書の言葉であることは周知されていない。
『あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができます。』

『あなたの父母を敬いなさい。そうすればあなたの父母は長生きする』とは記されていない。老親の幸福とあなたの幸福は表裏一体です。』とは記されていない。相反するかに見える二つのものが、根本では密接につながっている。あなたの老親を大切にすることを抜きにして、あなた自身が幸福で穏やかな生活を望むことは出来ないと断言している。しかも厳しいだけの「掲」と思いかや、確かな「約束を伴う」という優しさに満ちたこの聖書の言葉に驚嘆する。

人としてよくすべき本来のつとめ

厚生労働省の指導により、しかたなく「重度化指針」を作成し、しかたなく『大変だけれどみんなで頑張ってお世話します』ではない。掲げている「福音」(聖書)の真意に目が開かれて至極当然、介護事業者の本分として重度化に対応しているのである。

十八名のご利用者を自分の親のように大切にし、お世話させていただくことで、介護事業所としての「福音の園」と、そこに働く一人ひとりが幸福(事業発展)になつていくと。この約束を望み見て一意専心、介護力向上に努めているのである。

開園四周年記念バザーの御礼

木野目地区四自治会長様・川越ハイツ自治会長様宛、チラシ回覧を依頼して迎えた十月十一日(土)、九時半開店バザー。近隣の方々はじめ、ご家族の皆様にご来店いただきました。尚、バザー用品を多數提供下さいました皆様に心から御礼申し上げます。